

【2021 年度私大医学部一般入試における主要変更点一覧】

(2020 年 12 月 3 日時点)

大学名	2020 年度入試からの変更点
岩手医大	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">一般</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員減 「80 名」⇒「78 名」 ▶ 試験科目の変更 1 次に組み込まれていた（その評価は 2 次選考時に使われていた）小論文がなくなる。 ▶ 1 次試験科目配点の変更（理科） 「英 100, 数 100, 理科 200(100×2)」⇒「英 100, 数 100, 理科 150(75×2)」 ▶ 1 次試験時間割の変更 「英 60 分, 数 60 分, 理科 2 科目 120 分」⇒「英・数 120 分, 理科 2 科目 120 分」
東北医科薬科大	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">一般枠・修学資金枠共通</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 出題範囲等について以下の注釈がつけられた。 ◇数学Ⅲについて、本学が「発展的な学習内容」と判断した事項に関して、設問中に補足事項等を記載する。 ◇化学は「高分子化合物の性質と利用」を、生物は「生態と環境」・「生物の進化と系統」を、物理は「原子」を除く。
獨協医大	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">一般</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員増 「58 名」⇒「63 名」 ▶ 1 日のみであった 1 次試験日を 2 日に増やし、自由選択制にした。（両日受験も可） ▶ 1 次に組み込まれていた（その評価は 2 次選考時に使われていた）小論文が 2 次に移動した。 ▶ 試験時間の変更 「英 70 分, 数 70 分, 理科 2 科目 100 分, 小論文 90 分」 ⇒「英 60 分, 数 60 分, 理科 2 科目 120 分, 小論文 60 分」（小論文は 2 次に移動した） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">共通利用</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員減 「15 名」⇒「10 名」 ▶ 2 次試験科目の変更 「面接」⇒「小論文, 面接」

大学名	2020年度入試からの変更点
埼玉医大	<p data-bbox="400 353 603 387">一般前期・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="400 405 1015 465">▶ 募集人員の変更 「前期 52 名, 後期 35 名」⇒「前期 65 名, 後期 20 名」 <li data-bbox="400 488 1066 584">▶ 1 次試験科目配点の変更 (英語, 小論文) 「英 150, 数 100, 理科 200(100×2), 小論文 50」 ⇒「英 100, 数 100, 理科 200(100×2), 小論文一段階評価」 <li data-bbox="400 607 1038 703">▶ 1 次試験時間の変更 「英 80 分, 数 60 分, 理科 2 科目 100 分, 小論文 60 分」 ⇒「英 70 分, 数 50 分, 理科 2 科目 90 分, 小論文 50 分」 <li data-bbox="400 725 1366 869">▶ 小論文の出題内容の変更 「小論文－基礎学力試験 (実際はマーク形式の現代文の問題だった)」 ⇒「小論文－記述式, 和文・英文 (和文と英文の課題文に設問がつく形と推定される)」 ※小論文の評価は 2 次選考時に使われることになった。 <p data-bbox="400 898 528 931">共通利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="400 949 632 1010">▶ 募集人員減 「10 名」⇒「5 名」 <li data-bbox="400 1032 1206 1128">▶ 共通テスト出題範囲の変更 (国語) 「英 150, 数 I A50, 数 II B50, 理科 2 科目 200, 国 (古漢除く) 100」 ⇒「英 150, 数 I A50, 数 II B50, 理科 2 科目 200, 国 (古漢含む) 100」
順天堂大	<p data-bbox="400 1198 555 1232">一般A方式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="400 1249 639 1310">▶ 募集人員増 「63 名」⇒「64 名」 <p data-bbox="400 1339 724 1373">共通・一般併用, 共通利用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="400 1391 1417 1487">▶ 共通テスト科目配点の変更 (英語) 「英 250, 数 I A100, 数 II B100, 理科 2 科目 200, 国 (古漢含む) 200, 地公 1 科目 100」 ⇒「英 200, 数 I A100, 数 II B100, 理科 2 科目 200, 国 (古漢含む) 200, 地公 1 科目 100」
昭和大	<p data-bbox="400 1545 603 1579">一般 I 期・II 期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="400 1597 1278 1657">▶ 1 次試験科目の変更 「英, 数, 化・生・物→②」⇒「英, 数・国 (現代文) →①, 化・生・物→②」
帝京大	<p data-bbox="400 1713 480 1747">一般</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="400 1765 639 1825">▶ 募集人員減 「91 名」⇒「89 名」 <li data-bbox="400 1848 1059 1944">▶ 1 次試験選択科目「国語」の出題範囲の変更 「古文・漢文を含む」⇒「現代文のみ」 ※前年度までも現代文のみを選択することが可能であった。

東京医大	<p>一般</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員増 「75名」⇒「79名」 <p>共通利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員減 「14名」⇒「10名」 ▶ 共通テスト科目配点の変更（英語） 「英 250, 数Ⅰ A 100, 数Ⅱ B 100, 理科 2 科目 200, 国（古漢含む）200, 地公 1 科目 100」 ⇒「英 200, 数Ⅰ A 100, 数Ⅱ B 100, 理科 2 科目 200, 国（古漢含む）200, 地公 1 科目 100」
東京女子医大	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学納金の増額 6年間合計：34,096,000円⇒46,214,000円（12,118,000円増）
東邦大	<p>一般</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員減 「85名」⇒「70名」
聖マリアンナ医大	<p>一般前期・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 後期日程新設による募集人員内訳の変更 「80名」⇒「前期 70名, 後期 10名」 ▶ 1次試験時間割の変更 「英 90分, 数 90分, 理科 2 科目 150分」⇒「英・数 150分, 理科 2 科目 150分」
東海大	<p>一般・共通利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2次で課せられる小論文の試験時間変更 「30分」⇒「45分」（制限字数は 500 字のまま変更なし）
金沢医大	<p>一般前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 出題範囲について以下の注釈がつけられた。 ◇数学Ⅲは「発展的な学習内容」からの出題はしない。 ◇化学は「発展的な学習内容」からの出題はしない。生物は「生物の進化と系統」を、物理は「原子」を除く。 <p>一般前期・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2次で課せられる面接（グループ討論形式）に配点が設けられ、さらに「調査書を含む」との注釈がつけられた。 「1次：英 100, 数 100, 理科 2 科目 150/2次：小論文 60, 面接-重視」 ⇒「1次：英 100, 数 100, 理科 2 科目 150/2次：小論文 60, 面接 110」
愛知医大	<p>一般</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 出題範囲について以下の注釈がつけられた。 ◇化学は「合成高分子化合物」を、生物は「生態と環境」を、物理は「原子」を除く。

藤田医大	<p>一般前期・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員内訳の変更，後期に現役枠を設けた 「前期 75 名，後期 5 名」⇒「前期 72 名，後期 8 名（現役枠 5 名を含む）」 ▶ 2 次で課せられる面接の配点の変更 「1 次：英 200，数 200，理科 2 科目 200／2 次：面接（提出書類と合わせて）100」 ⇒「1 次：英 200，数 200，理科 2 科目 200／2 次：面接（提出書類と合わせて）50」 <p>共通利用前期・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 共通テスト科目・出題範囲・科目配点の変更 「英 250，数 I A 125，数 II B 125，理科 2 科目 250，国（古漢含む）100，地公 1 科目 50」 ⇒「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200，国（古漢除く）100」 <p>共通利用前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2 次で課せられる面接の配点の変更 「面接（提出書類と合わせて）100」⇒「面接（提出書類と合わせて）50」 <p>共通利用後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2 次試験科目・配点の変更 「面接（提出書類と合わせて）100」⇒「総合問題 300，面接（提出書類と合わせて）50」 ▶ 英語外部試験の成績利用制度を導入 各英語外部試験における指定スコアを有する者について、共通テスト英語の最低保証得点を 180 点とする。（本人得点と 180 点のうち高い方を利用する）
大阪医大	<p>一般前期・後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 2 次に組み込まれていた小論文が 1 次に移動した。ただし、その評価は 2 次選考時に使われる。 <p>共通利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 共通テスト科目・出題範囲の変更 「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200，国（古漢含む）100，地公 1 科目 50」 ⇒「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200，国（古漢除く）100」
関西医大	<p>一般前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員減 「72 名」⇒「55 名」 <p>共通利用前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 共通テスト科目の変更 「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200，国（古漢除く）100」 ⇒「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200，国（古漢除く）100，地公 1 科目 100」 <p>共通利用後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 共通テスト科目の変更 「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200，国（古漢除く）100」 ⇒「英 200，数 I A 100，数 II B 100，理科 2 科目 200」

久留米大	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">一般</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 出題範囲について以下の注釈がつけられた。 ◇化学は「合成高分子化合物」を、生物は「生物の進化と系統」・「生態と環境」を除く。物理は前年度と同様に「原子」が除外される。
福岡大	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">一般</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員増 「60名」⇒「65名」 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">共通利用</div> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 募集人員減 「10名」⇒「5名」 ▶ 英語外部試験の利用方法変更 「センターの得点と本学が定める英語資格・検定試験活用制度における“みなし得点”のうち、高い方の得点を採用する」 ⇒「英語各種検定試験の成績を40点または20点に点数化し、共通テストの得点に加算する」

<注釈>

- ◆募集人員について、大学により、およその人数として公表しているところがある。
- ◆試験会場・入試日程・出願書類についての変更は表記を省いた。
- ◆大学により、コロナ禍の状況を踏まえて、追試験等の措置をとるところがあるが、それらについては表記を省いた。
- ◆自治医大と産業医大については調査対象から外した。

【補足】共通テスト利用入試における英語のリーディングとリスニングの配点比率について

2021年度入試から実施される共通テストでは、英語について、前年度までの「筆記200点、リスニング50点」が「リーディング100点、リスニング100点」に変更された。ただし、その配点は大学入試センターが定めたもので、共通テスト利用を採用する大学は、それぞれ独自に決定することができる。2021年度入試におけるその配点比率は大学によってばらつきがあり、以下にその一覧を記す。

	リーディング：リスニング		リーディング：リスニング
獨協医大	1:1	東海大	4:1
埼玉医大	3:1	愛知医大	4:1
国際医療福祉大	1:1	藤田医大	3:1
杏林大	1:1	大阪医大	4:1
順天堂大	4:1	関西医大	3:1
帝京大	4:1	近畿大	4:1
東京医大	3:1	福岡大	4:1

注) 帝京大については、リーディング(100点満点)の得点と、「リーディング80点、リスニング20点」の配点
で算出した得点のうち、高い方が採用される。